

たばこの種類と受動喫煙の規制について

たばこの種類	特徴について	たばこ葉の使用	ニコチン	有害物質	受動喫煙の規制※1
紙巻たばこ (シガレット)	刻んだたばこ葉を紙で巻いて、火をつけて使用するものです。私たちが普段よく見かけるたばこです。	あり	あり	あり	あり
葉巻(シガー) 刻みたばこ(パイプ・キセル)	葉巻などもたばこ葉を使用します。紙巻たばこと同様に、火をつけて煙を発生させるため、受動喫煙に注意が必要です。	あり	あり	あり	あり
水たばこ (シーシャ)	たばこの煙を水にくぐらせて吸うものです。水パイプという喫煙具を使用します。たばこ葉を使用するものは、ニコチンが含まれており、健康影響の懸念があります。	あり	あり	あり	あり
加熱式たばこ (アイコス・グローなど)	たばこ葉やたばこ葉を加工したものを、燃焼させずに電氣的に加熱し、エアロゾル(霧状)化したニコチンと加熱によって発生した化学物質を吸入するタイプのたばこ製品です。電子たばこと混同されがちですが、紙巻たばこなどと同様に健康増進法による規制の対象です。新しい製品であるため、長期間使用した場合の健康影響については明らかになっていませんが、健康に悪影響を及ぼす可能性が否定できません。	あり	あり	あり	あり
無煙たばこ (嗅ぎたばこ・噛みたばこ)	加熱や燃焼させることなく使用できるたばこの一種です。煙を生じさせませんが、ニコチンやその他の有害物質が含まれます。	あり	あり	あり	なし※2
電子たばこ (ヴェイプ)	たばこ葉を使用せず、香料などを含む溶液を電氣的に加熱させ、発生する蒸気を吸うものです。よく誤解されますが、加熱式たばこと電子たばこは別物です。日本ではニコチンを含むものは現在販売されていませんが、ニコチンの有無にかかわらず、電子たばこによっては、健康に影響を及ぼす可能性のある有害物質が発生するものと報告されています。	なし	なし※3	あり※4	なし

※1 たばこ葉を使用しないものは、受動喫煙の規制の対象外です。 ※2 煙が発生しないため、受動喫煙の規制の対象外です。

※3 海外の製品にはニコチンを含むものもあります。

※4 電子たばこによっては、発がん性物質などを発生するものと報告されています。

(参考)

・厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット

・厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(2016)